

須崎高等学校と須崎工業高等学校の統合後の新しい学校の姿

※抜粋:「県立高等学校再編振興計画」(平成26年10月 高知県教育委員会)

高吾地域の拠点校となる新たな高等学校へのさらなる発展

■適正規模を維持

- ・生徒の多様な進路希望に対応
- ・活気あふれる学校

■将来にわたって安心して学ぶことができる教育環境の整備

- ・震災に強く、地域の防災拠点としての活用も見据えた設備

定時制

地域の多様な学習ニーズのある生徒に柔軟に対応
<1学級>

普通科

学習指導の充実により、さらに大学進学等の進路実現につなげる。
<3学級>

切磋琢磨する環境

工業科

これまでの伝統を継承し、さらに発展させる。
<3学級>

■拠点校としての教育の充実

大学進学等にも対応できる学力を保証するとともに、体験的な活動を通して勤労観・職業観を養うことで、**進学から就職まで、生徒の多様な進路希望に対応する。**

- ・習熟度に応じた授業の実施やきめ細かなカリキュラム編成による学習指導の充実
- ・国公立大学進学に、より対応できる教育課程の充実
- ・工業科においては、幅広い専門的知識・技術を学ぶとともに専門分野を深く学ぶ体制を整え、職業教育の充実を図るとともに、就職支援を強化する。
- ・基礎学力や勤労観・職業観を、引き続きしっかりと身に付けることにより、工業科における就職率100%の実績を維持する。

○地域を支える人材の育成

- ・防災教育で地域と連携
- ・ドラゴンカヌーに代表される地域おこし活動の継承
→積極的に地域貢献に取り組み社会性や協調性を育成

地域内(※)の中学校からの進学率向上を目指す。
(現在の45%を65%以上に)

※須崎市、中土佐町、津野町

○生徒が切磋琢磨できる環境づくり

- ・生徒の希望に応じた多様な部活動の充実
- ・生徒会活動や体育祭・文化祭等の特別活動の充実

■教育環境(ハード面)の整備

- ・須崎工業高校の校舎の増改築、設備の更新、グラウンドの拡張などによる学習環境の整備
- ・避難路としても活用できる、新たな通学路の整備

改編し統合

須崎高等学校

- ・生徒数:335名
- ・総合学科4学級、定時制1学級
- ・総合学科の特色を生かしながら、国公立大学をはじめとする大学や専門学校への進学、就職と多様な生徒の進路実現に貢献

須崎工業高等学校

- ・生徒数:279名
- ・工業科4科4学級
- ・高吾地域唯一の工業高校として、県内外の大手企業への就職に加え、国公立大学等への進学も実績がある。

(H25.5.1現在)